

学力向上に効果のある取組事例

佐伯市立東雲中学校

①基礎的・基本的な知識及び技能の習得

基礎的・基本的な知識及び技能の習得

【個別指導の徹底】

- 各教科で定期的に単元テストを実施し、生徒個別の苦手分野を把握する。
- 定期テストや単元テスト、課題等で達成できていない生徒に対してその都度、個別指導を行う。
- 個別指導の時間や教科が重なることで生徒の負担にならないように教科間で連絡調整する。
- 授業評価アンケートや学校評価アンケートの生徒の意見を集約し、授業改善・指導改善に生かす。
- 「個別指導の徹底」を「学校評価の4点セット・取組指標」の中に盛り込み、全職員が共通理解のもとに取組を進める。



昼休みの個別指導

各教科等の学習過程を踏まえたITCの活用

【タブレットの効果的な活用】

- タブレットと電子黒板を活用し、ロイロノートによる出題・回答・回収・添削・公開など、視聴覚から理解を促す効果的な授業づくりを進める。(写真左上)
- 総合的な学習の時間等では、調査活動を個別に迅速に実施する。(写真右下)
- 各授業での「まとめ」「振り返り」を効率的に行い、授業内容の定着を図る。



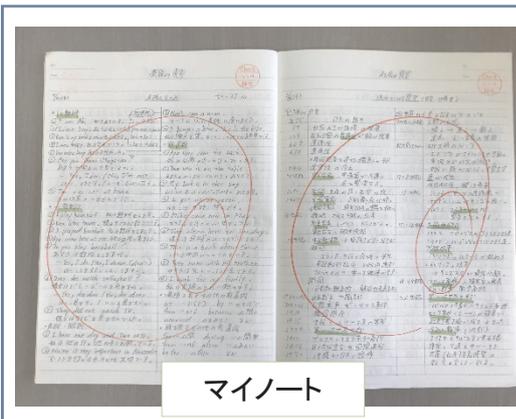
英語

総合的な学習の時間

家庭学習の取組

【家庭学習習慣の定着】

- 生徒アンケート「宿題をきちんと仕上げ提出している」で肯定的な回答をする生徒の割合を80%以上を目指す、学級担任・教科担任等で取り組む。
- 「マイノート(右写真)」「タイム君」を学級担任が毎日確認し、学習内容や学習時間をチェックする。必要があれば個別に指導する。
- 「メリハリウィーク」を各学期の定期テストの前に企画し、生徒の学習目標や学習時間をチェックできるよう、家庭と連携して取り組む。



マイノート